

# 2020 チャレンジ育英制度 (論文奨励)募集

論文奨励のテーマ決定!⇒「募集要項」は学生課 HP で配布!

文教大学生として日頃の研究活動や勉学の成果、体験した意見・抱負を論文として表現することを奨励し、採用者には、育英金(上限 10 万円)を給付する制度です。

みなさんの応募を期待します!

## テーマ

下記①～④のテーマから 1 つを選択し、5,000 字程度で論述してください。※複数に出願は不可

### ①『文教大学への提言』

標記のテーマのもと、現在文教大学が抱えている問題等について、あなたなりに論じてください。なお、『文教大学への提言』はあくまで大きなテーマであり、タイトルはこれとは別に設定しなければなりません。また、限られた文字数の中で論じる必要があります。論点は 1 つに絞ってください。

【テーマの例 (課題やトピック)】

文教大学の存在意義、東京あだちキャンパス開設、キャンパス間の連携、魅力ある大学・キャンパス、カリキュラム、地域とのつながり、学生のマナー、課外活動参加率の低下など

### ②『新型コロナウイルス感染拡大の中で考えたこと』

新型コロナウイルスの感染拡大の中であなたは何を考えていますか?新型コロナウイルスの感染拡大で世界中の多くの人々が「日常」を失いました。私たちがこれまで当たり前を送ってきた「日常」とは何だったのでしょうか?また、このウイルスに対する積極的な対応策を持ち得ていない無力さの中で「人間が生きること」とはいかなることなのでしょう?論点を明確に絞り、あなたの考えたことについて述べてください。 ※必ず副題を付けること

### ③『「九月入学制度」に移行するために必要な方法とは』

世界の中で多くの国が日本と違いこの制度になっています。善し悪しはともかく、また、実現するかどうかはともかく、この議論は必ず日本で問題になり続けます。Semester制やQuarter制を導入しているのだから4月入学でもいいではないか、という意見はとりあえず置いておいて、もし導入するとしたらどのような手順や、準備や、方法が必要になるとあなたは考えますか?新型コロナウイルス禍で学校休校が長引くなかで急激に浮上してきた「九月入学制度」。政治家達が「このような非常事態においてだからこそ実現できる」などと発言していましたが、そんなに簡単ではないはずです。この制度がもたらす影響は子どもや学生だけでなく、日本社会全体の問題です。あなたはどのように移行すべきだと考えますか。移行にはどんな方法が良いと思いますか。

### ④『対面指導・接触制限下における学校教育の意義』

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校教育の現場では従来の対面指導を前提とした教授方法に制約が課され、大きな変化を余儀なくされている。遠隔授業の実施等、インターネットツール等の活用で代替が可能であったり、従来よりも高い教育効果が見込めるものもある一方、ツール活用の限界、デメリットもあろう。教育環境も大きな変化を余儀なくされている中で、単なる教授方法についてだけでなく、「学校で学ぶ」ことの意義や価値 (既存の学校の形の価値、新しい学校の形による新たな価値等) について論じてください。なお、自身の設定テーマによって、学校種 (大学～小学校)、自身の視点 (教わる立場、教える立場) は明確にすること。

例) 大学で学ぶ立場から、小中学校で教える立場から等

\*専門性を問うものではありません。必要に応じ、文献などを調べ、論文にまとめてください。

注: 新聞・雑誌・インターネット・書籍等から文章・考え・データ等をそのまま引用したり、あるいはそれらを自身の言葉でまとめて記述したりする場合は、必ず引用した出典を文中に明記し、文末に出典対応とする引用文献リストを載せてください。引用したのにもかかわらず出典を記載していない場合は、「盗作」とみなされます (ただし、卒業年次生については研究論文・卒業論文と類似のものは認められません。また、未発表作品に限ります)。